



2023年11月9日

各 位

ENEOS株式会社

### 性的マイノリティに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」で 4年連続最高評価「ゴールド」を受賞しました！

当社（社長：齊藤 猛）は、企業の性的マイノリティに関する取り組みの評価指標である「PRIDE 指標」において、4年連続最高評価である「ゴールド」を受賞しましたので、お知らせいたします。



「PRIDE 指標」は、性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する一般社団法人 work with Pride が 2016 年に策定した、企業・団体における LGBTQ+ など性的マイノリティに関する取り組みの評価指標です。「行動宣言」「当事者コミュニティ」「啓発活動」「人事制度/プログラム」「社会貢献/渉外活動」の 5 つの分野での採点により、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の 3 段階で評価され、すべての項目で基準を満たす企業・団体のみが「ゴールド」認定を受けることができます。

当社は、グループの長期ビジョンにおいて「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立を掲げています。この大きなチャレンジを担うのは“人”であり、第 3 次中期経営計画の「人材戦略」においても、多様な従業員一人ひとりが、持てる能力を最大限発揮できる環境を整備するための施策として、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進を重要な取り組みの一つと位置付けています。

公正、公平な仕組みづくりや従業員の成長を後押しする機会の提供に加え、誰もが自分らしく働けるインクルーシブな職場風土の醸成に努めている中で、性的マイノリティについては以下の取り組みを実施しており、これらが評価され、4年連続での最高評価「ゴールド」を受賞しました。

#### <当社の取り組み>

- 人事制度における「配偶者」の定義に同性パートナーを追加
- アウティングの禁止やカミングアウトがあった際の適切なコミュニケーションの取り方等をまとめた「職場サポートガイドブック」の発行
- ENEOS ALLY（エネオス アライ）の組成、運営、イベントの実施等
- 社内への継続的な情報発信（全社eラーニングの実施や当事者の方を招いた理解促進セミナーの実施等）
- 社内専門窓口の設置

当社は、人権や多様性の尊重をグループ行動基準に掲げ、今後もダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進を積極的に図り、継続的な企業価値の向上に繋げるとともに、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献してまいります。

なお、当社の性的マイノリティに対する取り組み内容はウェブサイト※からもご確認いただけます。ぜひご覧ください。

※ 当社ウェブサイト：[ダイバーシティ推進 性的マイノリティへの取り組み](#)

以 上